

# XENAKIS

クセナキスのすべてのピアノ独奏曲、そして《エオンタ》を最高のメンバーで。

日本・ギリシャ文化観光年2024記念事業

## 大井浩明ピアノリサイタル

2024年9月18日(水)19:00 豊洲シビックセンターホール

開場: 18:30

有楽町線「豊洲」駅 徒歩2分

### 【曲目】

- マイケル・フィニッシー(1946-) : 《ピアノ協奏曲第4番》(1978/96)  
ヤニス・クセナキス(1922-2001) : 《6つのギリシア民謡集 Έξι τραγούδια》(1950/51)  
《ヘルマ(胚) - 記号的音楽 Έρμα - Συμβολική μουσική》(1961)  
《エヴリアリ Ευρύαλη》(1973)、《霧 Ομίχλες》(1980)、《ラヴェル頌 στον Ραβέλ》(1987)  
《エオンタ(存在するものども) \* 並 少 + 》(1964、ピアノと金管五重奏)

### 【客演】

〈演出補佐〉田中敏文 〈指揮〉大井 駿  
〈トランペット〉高橋 敦 / 服部孝也  
〈トロンボーン〉小田桐寛之 / 伊藤雄太 / 菅 貴登

主催/お問い合わせ: アートアンドメディア株式会社 info@artandmedia.com

後援: 駐日ギリシャ大使館

This concert is part of the 2024 Greece-Japan Year of Culture and Tourism events in Japan  
Εκδήλωση του Έτους Πολιτισμού και Τουρισμού Ελλάδος - Ιαπωνίας 2024

助成: 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [東京芸術文化創造発信助成]



2024  
GREECE-JAPAN  
YEAR OF CULTURE & TOURISM

Rohm Music  
Foundation  
ロームミュージックファンデーション

ARTS  
COUNCIL  
TOKYO

teket

全席自由: 5,000円

チケットはteketで! QRコード →  
<https://teket.jp/10893/37345>

<https://eonta.jp>

本公演特設ページ



# クセナキス演奏で国際的に名高い大井浩明と 日本のトップ金管楽器奏者たち&新進気鋭の指揮者・大井駿、そして 演出補佐は重要無形文化財保持者である金剛流能楽師・田中敏文、という 最高のメンバーで上演する《エオンタ》。

## さらにクセナキスのピアノ独奏曲全曲とフィニッシーの最難曲も演奏される、 世界に類を見ない、あまりにも特別な一夜です。

戦後現代音楽を代表する巨匠クセナキスの最高傑作《エオンタ》は、1961年の初来日時に京都で能を鑑賞した直後に着想され、1964年にP.ブレーズ指揮ドメヌ・ミュージカルによりパリで初演されました。

ピアノパートと並んで極めて至難な金管パートは、高橋敦（都響首席）をはじめとする日本のトップ奏者たちが参加。そして指揮は第1回ひろしま国際指揮者コンクール第1位を受賞し指揮者・ソリストとしていま最も注目されている新進気鋭の大井駿が務めます。

《エオンタ》初演60周年、そして日本・ギリシャ文化観光年（国交樹立125周年）にあたる今年、世界初の試みとして演出補佐を仰ぐ金剛流シテ方・田中敏文（重要無形文化財保持者）は、京都大学大学院数理工学科修了の異色の能楽師でもあります。クセナキスは、アテネ国立工科大学（ポリテフニオー）で学び、ル・コルビュジエの助手も務めた、一級の建築家でした。

この《エオンタ》に合わせて、全鍵盤作品ならびに全協奏曲の唯一の踏破者であり、クセナキスからその演奏を絶賛された大井浩明によって、ピアノ独奏曲・全5曲が一気に上演されます。

このような意欲的なプログラミングは、2022年の生誕100周年でもなかった、世界的に類を見ないものであるといえるでしょう。

併せて、クセナキスのピアノ書法に甚大な影響を受けた、マイケル・フィニッシーの代表作にして最難曲である《ピアノ協奏曲第4番》も演奏します。

1996年7月、新日本フィル定期と京都市響定期で大井浩明が演奏したクセナキス：ピアノ協奏曲第1番《シナファイ》は、当時74歳だったクセナキス自身から激賞され、初のCD全集（ルクセンブルク・フィル）の独奏者として抜擢。同曲ならびにピアノ協奏曲第2番《エリフソン》の世界初録音は、欧米主要誌すべてで最高評価を獲得する快挙を遂げた。

クセナキス生誕100周年の2022年には、ピアノ協奏曲第3番《ケクロプス》を井上道義指揮東京フィル定期（サントリーホール、東京オペラシティ、オーチャードホール）で日本初演し、絶賛を博した。

### 大井浩明 Hiroaki OOI

京都市出身。ピアノを独学で始める。京都大学工学部電気工学科を経て、ベルン芸術大学大学院ピアノ科ソリストディプロマ課程修了。ガウデアムス国際現代音楽演奏コンクール（1996/ロッテルダム）、メシアン国際ピアノコンクール（2000/パリ）に入賞。朝日現代音楽賞（1993）、アリオン賞（1994）、青山音楽賞（1995）、村松賞（1996）、出光音楽賞（2001）、文化庁芸術祭賞（2006）、日本文化芸術賞（2007）、一柳慧コンテンポラリー賞（2015）等を受賞。これまでに N響、新日フィル、都響、東フィル、東京シティ・フィル、読響、仙台フィル、京都市響、アンサンブル金沢等のほか、ヨーロッパではバイエルン放送響、アンサンブル・アンテルコンタンポラン（パリ）、ASKO アンサンブル（阿姆斯特ダム）、ドイツ・カンマーオーケストラ（ベルリン）、シュトゥットガルト室内管、ベルン響等と共演。「ヴェネツィア・ビエンナーレ」「アヴィニョン・フェスティヴァル」「MUSICA VIVA」「ハノーファー・ビエンナーレ」「パンミュージック・フェスティヴァル（韓国・ソウル）」「November Music Festival（ベルギー・オランダ）」等の音楽祭に出演。

ルクセンブルク・フィルと共演したCD《シナファイ》（仏 TIMPANI レーベル）はベストセラーとなり、ル・モンド・ドゥ・ラ・ミュージック “CHOC” グランプリを受賞した。戦後前衛ピアノ音楽を体系的に網羅する作曲家個展シリーズ「Portraits of Composers (POC)」を 2010年より開始、現在までに計51公演（約500曲）を数える。



〈演出補佐〉  
**田中敏文**  
（金剛流シテ方、  
重要無形文化財保持者）



〈指揮〉  
**大井 駿**  
（第1回ひろしま国際  
指揮者コンクール第1位）



〈トランペット〉  
**高橋 敦**  
（東京都交響楽団首席）



〈トランペット〉  
**服部孝也**  
（元・新日本フィル首席、  
昭和音楽大学准教授）



〈トロンボーン〉  
**小田桐寛之**  
（元・東京都交響楽団首席、  
日本トロンボーン協会会長）



〈トロンボーン〉  
**伊藤雄太**  
（日本フィルハーモニー  
交響楽団首席）



〈トロンボーン〉  
**菅 貴登**  
（中部フィルハーモニー  
交響楽団首席）



### 日本・ギリシャ文化観光年2024記念事業

This concert is part of the 2024 Greece-Japan Year of Culture and Tourism events in Japan

ミツオタキス首相と岸田首相は2023年1月の会談で、2024年を「日本・ギリシャ文化観光年」とすることを共同で決定しました。外務省、文化省、観光省は、ギリシャとその文化を紹介し、ギリシャと日本の人々の距離を縮めることを目的として、日本で記念イベントを展開する大使館を支援しています。

Prime Ministers Mitsotakis and Kishida, during their meeting in the beginning of 2023, jointly decided to declare 2024 as Year of Culture and Tourism Greece-Japan. The Ministries of Foreign Affairs, Culture and Tourism have offered their support to the Embassy to organize events in Japan this year, aiming to showcase Greece and its culture and bring the peoples of Greece and Japan closer.



Embassy of Greece  
in Japan

駐日ギリシャ大使館